



協働のまちづくりセミナー

地域とともにつくる共生社会

困難を抱える<子ども・若者>の学びと就労を支え、多様性を認め合える地域に！



講師 福田由美さん (NPO 法人 CCV)

民間企業を経て教職へ。不登校や発達障害など学校に適應できない子ども・若者の学びと就労を支え、一人ひとりが多様な能力や感性を生かせる社会をつくるためにNPOを設立。小中学生と高校生（高卒資格取得）のフリースクール、就労継続支援B型事業所、児童発達支援施設、グループホームなどを複合的に運営。

- 日時：令和4年2月21日（月）14：00～16：00 ○場所：栃木市役所3階正庁
- 対象：栃木市市民協働推進員の方、関心のある市民の方
- 参加無料 ○要申込み（電話・FAX・メールまたはくららホームページより）



市民活動推進講座

わたしたちの手でつくりあうウェルビーイングな地域づくり

SDGs時代のわたしたちの生活と市民活動について考えよう！



講師 高橋朝美さん（一般社団法人環境パートナーシップ会議）

有機農業が盛んな地域（新潟）での農協職員を経て2014年より現職。主に関東圏内を中心に、地域の課題解決に取り組む企業・行政・民間団体等多様な主体をつなぐコーディネーター役を担い、アクションのきっかけづくりをしている。SDGsに関するレクチャー、ワークショップ、コンテンツ監修なども手がける。

- 日時：令和4年2月26日（土）14：00～17：00 ○場所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館
- 対象：栃木市をより良い地域にしたい方（子育て中の方、学生さん大歓迎！）
- 参加無料 ○要申込み（電話・FAX・メールまたはくららホームページより）



くらら
スタッフの
インコナメ

副センター長 なみちゃんコラム

SDGsとWell-beingの視点で
より良い地域を考える

くららのSNS



Facebook



Twitter



助成金情報



株式会社 大塚商会

大塚商会ハートフル基金

2003年に誕生した社員と会社のマッチングギフト制度です。加入者の給与から毎月100円を積み立て、同額を会社が上乗せして基金とし、支援のテーマを決めて助成を行っています。

対象事業：地域の課題解決・コミュニティの活性化・社会のニーズに対応した地域活動
(町独自の問題の解決・動物愛護・外国にルーツのある児童のサポートなど)

対象団体：4名以上のメンバーで3年以上の活動実績がある非営利団体（法人格の有無は問わない）

助成額：30万円（総額300万円）

対象期間：事業開始日～令和4年12月31日（土）

応募締切：令和4年2月20日（日）

問合せ：大塚商会 メール heartful@otsuka-shokai.co.jp



公益財団法人 日本フィランソロピック財団

ソーシャル・グッド基金

次世代にマイナスの影響を及ぼす「格差」の解消に向き合い、子どもや若者が希望を持って成長し、社会人として自立できる力を伸ばす機会と環境を提供する活動を支援することを目的としています。

対象事業：経済的な貧困や教育・経験貧困、経歴から来るハンディキャップなどの困難を抱える

子どもや若者たちを支援し、希望を持って自立できる力を伸ばす機会と環境を提供する事業

対象団体：2年以上の活動実績がある非営利団体（法人格の有無は問わない）

助成額：上限200万円（総額600万円）

対象期間：令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

応募締切：令和4年2月18日（金）

問合せ：日本フィランソロピック財団 メール info@np-foundation.or.jp



公益財団法人 洲崎福祉財団

障害児・者に対する自立支援活動への一般助成募集

障害児・者の自立と福祉向上を目的とした活動を支援します。

対象事業：障害児・者の自立と福祉向上を目的とした各種活動

障害児・者に対する自助・自立の支援事業

対象団体：非営利法人、3年以上の活動実績があり今後2年以内に法人化予定の任意団体、難病患者会

助成額：10～200万円（総額3,000万円）

対象期間：令和4年6月1日（水）～11月30日（水）

応募締切：令和4年2月28日（月）

問合せ：洲崎福祉財団 TEL 03-6870-2019 FAX 03-6870-2119



イベント情報

とちっこかけ

子ども食堂 とちっこかけ

ごはんを一緒に食べよう！いろいろな友達に出会おう！大学生ボランティアと学ぼう！遊ぼう！
毎月第3土曜日に開催予定です。

場 所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 4階 講義室

内 容：蔵の街たんぼぼの会の調理スタッフが食事を提供します。学生ボランティアが子どもたちの学習のお手伝いをします。レクリエーションを通して楽しく学べます。

参加条件：主に小中学生、参加費無料、保護者の送り迎え必須

問 合 せ：NPO 法人 蔵の街たんぼぼの会 TEL 0282-24-7736 (小平)

次回は令和4年2月19日(土) 11:00~15:00 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、
食事提供の中止や延期になる場合があります。

(詳細はSNSや電話でチェック)

とちっこかけ Instagram



107歳まで歩こう！！きんさんに学ぶ会

脳活マッサージ教室

家庭でできる認知症マッサージの実演・指導を行います。脳活で元気に長生きしましょう！

日 時：令和4年2月26日(土) 10:00~11:30

場 所：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 4階

内 容：家族が実践できる認知症が改善したというマッサージの実演・指導

料 金：500円

問 合 せ：107歳まで歩こう！！きんさんに学ぶ会

TEL 070-5575-3692 (高橋)



栃木語り部の会

長野美穂 昔話イラストレーション展

不思議な伝説や昔話をイラストとともに味わってみませんか。週末には語りイベントも開催されます。

日 時：令和4年2月22日(火)~2月27日(日) 10:00~18:00 (最終日は16:00まで)

場 所：まちかど美術館 (小山市中央町2-1-8 メゾンタカキュー1F)

イベント：むかし語りの会~不思議な伝説とふるさとの昔話~

26日(土) 13:00~ 桃の花酒・飴買い幽霊・けしがら不動・しもつかれの話・耳なし芳一

27日(日) 13:00~ 綾川石・琴平神社・おいてけ婆・千駄塚・会津の三おんば様・夢応の

鯉魚

問 合 せ：栃木語り部の会 TEL 080-5424-2994 (間中)

SDGs と Well-being の視点でより良い地域を考える

私たち一人ひとりの日常生活による生産・消費・廃棄のサイクルは、大量の資源やエネルギーを使用し、大量の二酸化炭素を排出しています。世界全体で消費している自然資源の量は地球 1.7 個分に相当し、現在の豊かな生活は将来世代の資源まで使うことで成り立っていると言えます。そのうえで、貧富の格差、悪条件な労働、資源の収奪や枯渇、気候変動などの「人権」と「地球の限界」という課題を生んでいます。

2015 年、国連総会で「私たちの世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が 193 加盟国の合意で採択されました。この中で、貧困をなくし、地球を守りながら持続可能な世界を実現するために必要な行動変革とともに「誰一人取り残さない」ことが宣言され、2030 年までに達成をめざす 17 目標「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」<SDGs>が掲げられました。世界における日本は、名目 GDP：3 位、二酸化炭素排出量：5 位と上位にあり、持続可能な世界の実現には日本人の生活行動も重要です。

その一方で、世界幸福度ランキング：56 位と低く、一人当たり GDP は上昇していても生活満足度は横ばいです。経済成長で物質的な豊かさは伸びても、精神的な豊かさが伸びないことで Well-being（ウェルビーイング）が注目されています。「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態」と表現され、人権、健康、豊かさ、幸福などを包括的に捉える概念として 2030 アジェンダでも重要視されています。子どもの Well-being に関するユニセフの調査によると、OECD38 加盟国のうち、日本の子どもは身体的健康：1 位に対して精神的幸福度：37 位で、数学・読解力：上位 5 位に対して社会的スキル（すぐに友達ができるという設問）：ワースト 2 位です。大人・子ども共に Well-being の低さが目立ちます。

世界が持続可能で、すべての人々が Well-being に生きられる経済・社会・環境をつくるために、私たち一人ひとりの行動を考える機会をつくっていきたいと思います。ごみを減らし、資源を循環させる工夫。顔の見える関係や身近にある自然から生まれるものを大切にする。食べきれない食品はフードバンクやこども食堂で活用してもらう。今ある山の木を使い、新しい木を植える。地域の中で実現できることはたくさんあります。

とちぎ市民活動推進センターくらはとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。



開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町 6-8 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館内

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>



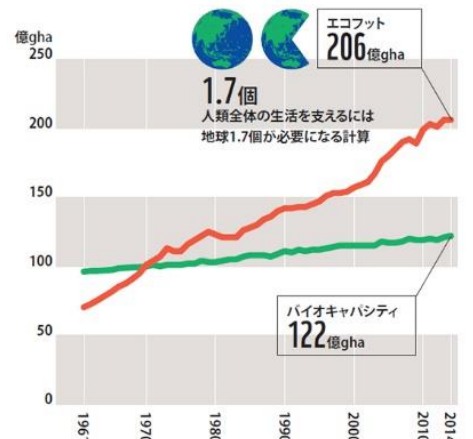
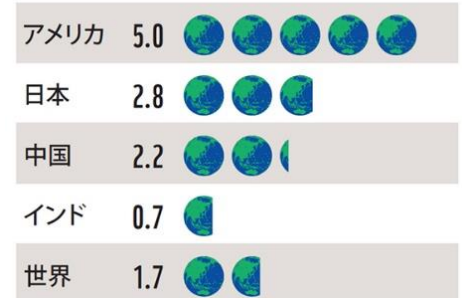
※くらはは、NPO 法人ハイジが栃木市の委託を受けて管理運営しています。

編集後記

2 月といえばバレンタインデー。元々は男性から女性にプレゼントを渡す習慣からはじまったという説もあります。現在は性別や立場は関係なくプレゼントを渡す日になっていますね。なぜかチョコレートを渡すというのが当たり前になっていますが、あんころ餅とか、和菓子でもいいですね。おせんべいでも。(大塚)

地球は何個必要？

もし世界人口がその国と同様の生活をしたら…



WWF ジャパン「環境と向き合うまちづくり」
日本のエコロジカル・フットプリント 2019